

令和 7 年 9 月定例月議会

令和 7 年 9 月 2 4 日

総務教育常任委員会

資 料

報告事項

案件名	所管局・課	ページ
長浜市図書館基本計画（第 3 期）の策定について（着手）	生涯学習課	2
第 2 期長浜市スポーツ推進計画の策定について（経過報告）	文化スポーツ課	3

市民協働部

所管委員会	総務教育常任委員会
所管課	生涯学習課

長浜市図書館基本計画（第3期）の策定について（着手）

令和3年12月策定の「長浜市図書館基本計画（第2期）」が令和9年3月をもって終了することを受け、第3期計画（令和9年度から令和13年度）を策定します。

1. 目的

長浜市図書館基本計画（第2期）では、市民の身近に図書館サービスがある体制づくりおよび全体の規模と各図書館の役割の見直し等を進めています。

計画終了に伴い、これまでの取り組みを踏まえ、社会環境の変化や長浜市の情勢を鑑み、施設のあり方も含めた図書館の目指すべき姿を明確にして、そのサービス向上を目的に策定するものです。

2. 策定期間

①策定期間：令和7年度～令和8年度 ②計画期間：令和9年度～令和13年度

年度	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13
長浜市図書館基本計画 （第2期）	施行						
同（第3期計画）	策定期間		施行				

3. スケジュール（予定）

R 7.	7月	教育委員会委員協議会（着手報告）
	9月	総務教育常任委員会（着手報告）
R 8.	7月	教育委員会委員協議会（中間報告）
	9月	総務教育常任委員会（中間報告）
	10月	全庁意見照会
	12月	総務教育常任委員会（素案報告）
	12月	パブリックコメント実施
R 9.	1月	教育委員会委員協議会（最終案報告）
	3月	総務教育常任委員会（最終案報告）
	4月～	第3期計画施行、ホームページ掲載

4. 策定体制

策定にかかる懇談会、関係課検討会議から適宜意見を聴取する。

所管委員会	総務教育常任委員会
所管局・課	文化スポーツ課

第2期長浜市スポーツ推進計画の策定について（経過報告）

1. 目的

スポーツ基本法第10条の規定に基づき策定した第1期長浜市スポーツ推進計画においては、すべての市民がスポーツを通じて笑顔にあふれた活気あるまち長浜の実現をめざして施策を推進してきました。令和7年度に国スポ・障スポ大会が終了することを一つの区切りとし、これまでの取組を踏まえたうえで、国スポ・障スポ後のスポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、第2期長浜市スポーツ推進計画を策定するものです。

2. 計画の期間

令和8年度～令和15年度（8年間）

3. これまでの経過

令和7年3月	総務教育常任委員会（着手報告）
5月	健康とスポーツに関するアンケート調査（市民2,500人）
6月	庁内ワーキング会議 策定委員会
7月	庁内ワーキング会議
8月	策定委員会

※策定委員会 … スポーツ関係団体、学校教育関係者、学識経験者、病院関係者、市民等 13名にて構成

※庁内ワーキング会議 … 政策デザイン課、健康企画課、しょうがい福祉課、長寿推進課、文化観光課、国スポ・障スポ大会推進室、教育指導課、幼児課 8課・室にて構成

4. 今後のスケジュール（予定）

令和7年9月	庁内ワーキング会議 策定委員会
10月	庁内意見照会
12月	総務教育常任委員会（パブコメ前報告） パブコメ実施
令和8年1月	策定委員会（最終案確認）
3月	総務教育常任委員会（最終案報告）
4月	第2期計画施行

第2期長浜市スポーツ推進計画の基本方針案

1. 第2期長浜市スポーツ推進計画の策定にあたって

1 策定の趣旨

令和7年度に国スポ・障スポ大会が終了することを一つの区切りとして、これまでの取組を踏まえたうえで、国スポ・障スポ後のスポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「第2期長浜市スポーツ推進計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけ

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条に基づき、国の「第3期スポーツ基本計画」及び県の「第3期滋賀県スポーツ推進計画」を参酌した「地方スポーツ推進計画」であり、かつ本市の「基本構想」を上位計画とした本市におけるスポーツ推進の指針となる計画です。

3 計画の期間

8年間（令和8年度～令和15年度）

4 スポーツの範囲

国のスポーツ基本法及び県のスポーツ推進計画における「スポーツの考え方」を基本とし、野球やサッカー、アメフトなどの競技種目やレクリエーション活動のほか、健康のための散歩や体操などの軽い運動、さらに徒歩や自転車による通勤や買い物などの日常生活における活動など、意識的・継続的に行う様々な身体活動をスポーツとして幅広く捉えていきます。

2. スポーツを取り巻く現状

1 国の動向

◆「第3期スポーツ基本計画」の策定 対象期間：令和4年度～令和8年度（5年間）

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした競技力の向上や国際交流、まちづくり等を重点施策に、新たな視点として「スポーツを『つくる/はぐくむ』」、「『あつまり』」、「スポーツを『ともに』行い、『つながり』を感じる」、「スポーツに『誰もがアクセス』できる」の3つを掲げ、スポーツ実施率の向上、健康増進、共生社会の実現、国際競技力の向上、スポーツを通じた地方創生など、多岐にわたる分野での取組を推進しています。

◆「スポーツ基本法」の改正（令和7年度）

共生社会の実現に向け、人種や性別、年齢、障害の有無にかかわらずスポーツに親しめる環境の整備を基本理念として強調。公立中学校の部活動改革に関することや、eスポーツなど情報通信技術の活用による推進、選手に対する暴力や盗撮、またインターネット上でのひぼう中傷等の防止等について改正されました。

2 県の動向

◆「第3期滋賀県スポーツ推進計画」の策定 対象期間：令和5年度～令和9年度（5年間）

「スポーツで滋賀を元気に！感動を未来へ！」を目指す姿に掲げ、「健やかで豊かな生活」をつくる、「活力のある地域」をつくる、「感動を未来へつなぐ」を基本方針として、県民誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しみ、多様な連携・協働等により活力が生み出されること等をめざし取組を推進しています。

3 第1期計画（中間見直し後）の取組状況と課題

基本方針1 「するスポーツ」

- ◆生涯スポーツの推進
- ◆競技スポーツの推進
- ◆スポーツ環境の整備

【取組状況】

- ・日常におけるスポーツ活動の推進やスポーツイベントの実施等により、子どもから大人までそれぞれ個人の体力や目的に応じたスポーツ活動の場を提供しています。
- ・国スポ・障スポ大会に向け、選手のレベルアップ、スポーツ団体の活動支援等により競技力向上及び競技人口拡大を推進してきました。
- ・施設の計画的な整備のため、令和6年度に「長浜市スポーツ施設整備基本計画」を策定。



【主な課題】

- ・子どもの1週間の運動・スポーツ実施時間の減少
- ・週1回以上のスポーツ実施率の伸び悩み（主に子育て世代、女性）
- ・少子化による競技人口の減少や指導者不足、スポ少加入率の低下

基本方針2 「みるスポーツ」

- ◆大規模のスポーツイベントの開催・誘致
- ◆トップアスリートとの交流
- ◆スポーツに関する情報の発信

【取組状況】

- ・国スポ・障スポ大会に向け、全国規模の大会や合宿の誘致、トップアスリートと交流できる機会の創出により、夢や感動を与える事業を推進してきました。
- ・スポーツイベントに関する情報をホームページや SNS を活用し積極的に発信。
- ・国内外で活躍している地元選手の情報を広く伝えることにより、スポーツの推進や地域の活性化につなげています。

【主な課題】

- ・国スポ・障スポ大会が終了することによるトップアスリートとの交流機会の減少
- ・必要な人に必要な情報を、適切な媒体で届けられるような仕組みづくり

基本方針3 「ささえるスポーツ」

- ◆スポーツ関係団体の育成・支援
- ◆指導者・ボランティアの育成・支援
- ◆スポーツ活動の顕彰

【取組状況】

- ・スポーツ競技団体の組織体制の強化、ボランティアの拡大により国スポ・障スポ大会に向け協力体制の強化を進めてきました。
- ・総合型地域スポーツクラブ活動の充実を図ることで、地域で身近にスポーツに親しむことができる環境をつくっています。

【主な課題】

- ・部活動の地域展開に向けた地域スポーツ活動の推進体制の遅れ
- ・地域で子どもたちのスポーツ活動をサポートする指導者の不足

基本方針4 「つなげるスポーツ」

- ◆スポーツの力で未来への絆づくり

【取組状況】

- ・スポーツ合宿の誘致やアウトドアツーリズムの推進により、スポーツが持つ力の人と人、人と地域を結び、地域の活性化を図ってきました。
- ・国スポ・障スポ大会を絶好の機会と捉えて、スポーツを通じたまちづくりに取り組んでいます。

【主な課題】

- ・国スポ・障スポ大会のレガシーを継承するための仕組みづくり

4 アンケート調査結果

◆健康とスポーツに関するアンケート結果

【調査結果】

- 運動やスポーツに関心がある割合は72.5%と高いものの、実際に週1回以上運動やスポーツをする割合は43.5%にとどまっている。運動頻度の低い方の理由としては「仕事や家事が忙しい」の割合が最も高く、次いで「一緒にする人がいない」の割合が高くなっている。
- 取り組んでいる運動やスポーツの種類は「自宅での体操やトレーニング」の割合が最も高く、次いで「屋外でのランニング・ウォーキング」の割合が高くなっている。運動やスポーツを行う理由としては「健康のため」の割合が一番高く、次いで「体力の増進・維持のため」の割合が高くなっているが、女性においては「運動不足の解消」も主な理由となっている。
- 総合型地域スポーツクラブを知らない人が6割を超えている。
- 運動やスポーツに関する情報の媒体は広報からが一番多く、次いで家族や友人・知人からの口コミが多くなっている。一方でインターネットや SNS から情報を得ている方は少ない。
- 情報については「スポーツの種類や楽しみ方の紹介」の情報を求める方が一番多く、その他の男性は「近隣スポーツ施設情報について」、女性は「初心者向けスポーツ教室について」の情報を知りたいと思っている。
- 長浜市に求める施策については、男性は「スポーツ施設の整備」の割合が最も高く、女性は「年齢層・体力レベルにあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発普及」の割合が最も高くなっている。
- 自由記述欄には自然環境を活かした運動・スポーツの推進を求める意見が多くあった。

【主な課題】

- 運動やスポーツに関心はあるが仕事や家事、地域行事等が忙しいため取り組むことができない方への施策の構築。
- ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方や効果、健康に関する情報等の提供。
- 紙媒体のチラシ等の配布からインターネットや SNS を利用した周知にシフトしつつあるが、幅広い年齢層に情報が伝わるようそれぞれの年齢層に応じた情報の発信。
- 自然の中で軽い運動ができる環境の整備や年齢層・体力に合ったプログラムの開発。

3. 第2期計画のめざす姿

誰もが輝く、健康で活力あふれるスポーツのまち NAGAHAMA

スポーツは、人生をより豊かで充実したものにするものであるとともに、体力向上や生活習慣病の予防など様々な健康効果をもたらします。明るく活力に満ちた社会の実現にスポーツは必要不可欠なものであり、生涯にわたり、ライフステージに応じて、スポーツに親しむことで、人生を健康で楽しく、生き生きしたものにすることができます。

本市では、年齢、性別、しょうがいの有無などにかかわらず、誰もがスポーツを楽しみ、スポーツを通じて人や地域とつながりながら、自分自身の輝きを高めるとともにスポーツの力で地域の活力を高めることを目標に、「誰もが輝く、健康で活力あふれるスポーツのまち NAGAHAMA」をめざす姿として、スポーツ推進を図ります。

4. 基本方針

基本方針1 ライフステージに応じたスポーツの充実

- 1 遊びや体験を通じたスポーツ機会の充実（幼児期・学童期）
- 2 スポーツ活動の充実（中学校～高校）
- 3 スポーツ参加機会の拡充（働く世代・子育て世代）
- 4 スポーツによる健康な体の維持（高齢期）
- 5 スポーツ活動への参加の促進（しょうがい者）
- 6 スポーツによる家族や仲間との交流

基本方針2 スポーツを支える環境の整備

- 1 総合型地域スポーツクラブの活動の充実
- 2 競技スポーツの育成・支援
- 3 スポーツ施設の計画的な整備
- 4 スポーツ関連情報の発信強化

基本方針3 地域資源を活かしたスポーツの推進

- 1 国スポレガシーの創出と活用
- 2 子ども・若者が継続的にスポーツに親しむ機会の創出
- 3 スポーツを通じた連携・協働の推進
- 4 スポーツツーリズムの推進